神興東地域

郷づくり計画

～ともに生き、支えあい、一人ひとりを大切にするまち　神興東～

平成３１年３月

神興東地域郷づくり推進協議会

目　　次

はじめに……1

１．郷づくり計画策定の目的等 ……2
（１）郷づくり計画策定の目的と位置づけ……2
（２）計画期間……2

２．地域の現況 ……3

３．地域の課題 ……6

４．基本方針・計画 ……8
（１）本部の基本方針・計画……8
（２）分野ごとの基本方針・計画 ……11
（３）重点項目 ……19

参考資料 ……20
（１）　計画策定の経緯……20
（２）　神興東地域づくり計画と神興東地域郷づくり計画……20
（３）　神興東ゆめ会議記録……21
（４）　自治会訪問記録……24
（５）　委員会名簿……25

はじめに

郷づくり事業は、平成14年度、神興東小校区まちづくり会、平成19年度、郷づくり神興東コミュニティを経て、平成25年度に、神興東地域郷づくり推進協議会を設立、必須分野の「防犯・防災」「福祉」「子育て支援」「環境・景観」の4つに独自分野の「文化」を加えて5つの部会を組織して地域内で様々な活動を取り組んで来ました。

平成30年3月、市は郷づくり基本構想を策定、これを基に、神興東地域郷づくり計画を策定することとなりました。

神興東地域では、その特性として先祖代々この地に住んでいる旧集落の住民と昭和40年代以降に住宅開発によって転居してきた住宅団地の住民には地域に対する考えの違いがあるように思います。また、地域住民全体の高齢化問題、あるいは、あけぼのや桜川を中心とした若い世帯が夫婦ともに仕事を持って多忙な中、地域全体のコミュニケーションをいかに取っていくのか等、様々な課題があり、地域が郷づくりに求めていることは何かを知り、「郷づくり」に生かしていくことが大切です。

今後「郷づくり」を継続、発展させるには、自治会やコミュニティ・スクールの小中学校、地域内の諸団体との連携をより深めていく事や若い世代の役員、部会員の加入それと女性役員の構成率も上げ、色々な世代の意見を取り入れていく必要があると考えます。

計画の標語は、前計画の「ともに生き、支えあい、一人ひとりを大切にするまち神興東」を継続することとしました。神興東地域の住民が手をとりあって、住みよいまちになるよう、願っています。

神興東地域郷づくり推進協議会

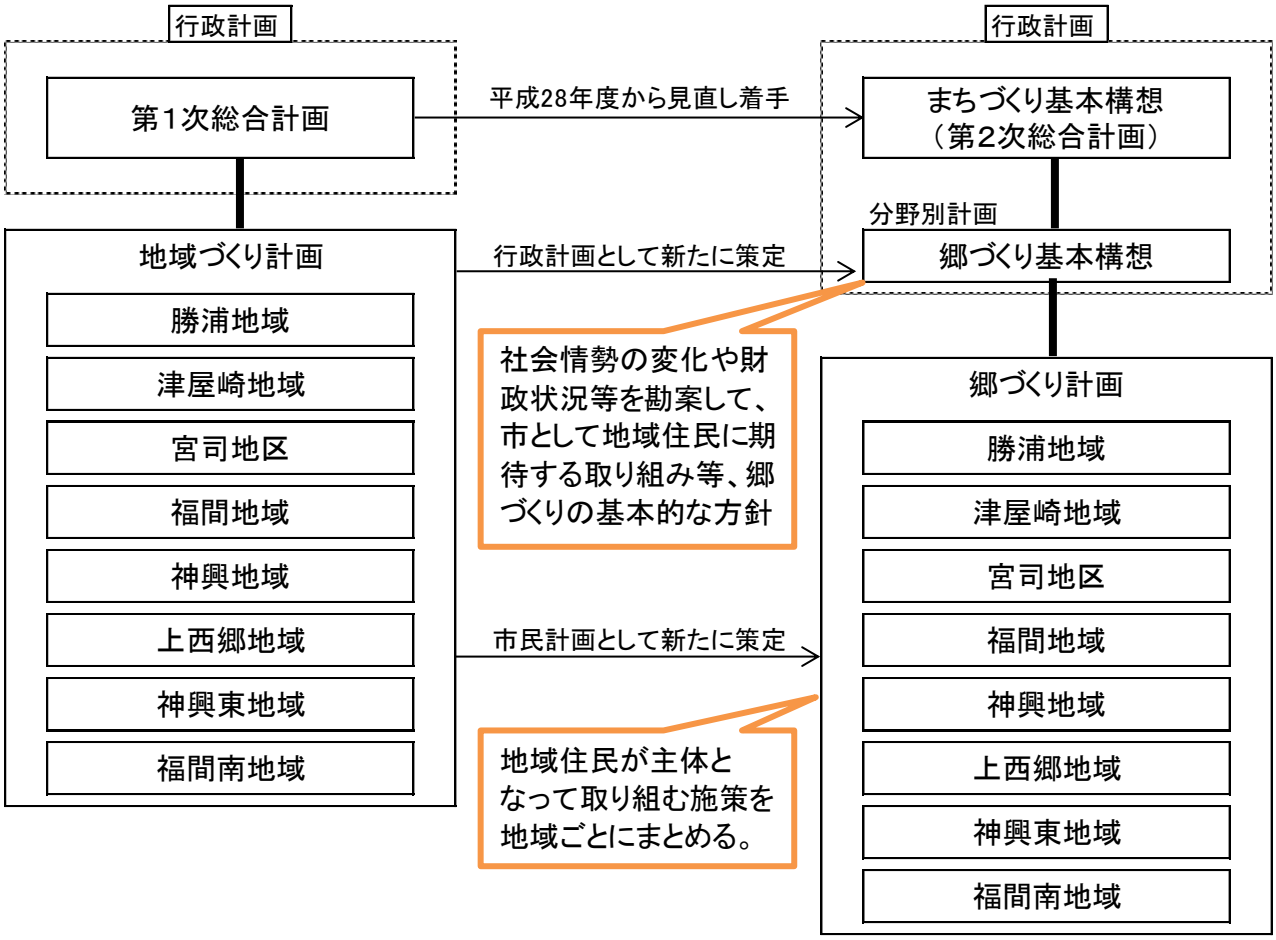
会長　奥　弘子

1. 郷づくり計画策定の目的等

(1)郷づくり計画策定の目的と位置づけ

市は、平成 30 年 3 月に郷づくり地域の役割や支援方針等を体系的にまとめ、今後の郷づくりの指針となる「郷づくり基本構想」を策定しました。当構想に基づき、地域住民が主体となって策定する「郷づくり」の行動計画として本計画を策定します。

なお、市では、第 1 次福津市総合計画（計画期間：平成 19 年度～28 年度）の策定に合わせて、平成 17～18 年度に「市民会議」を主体にして概ね小学校区単位の 8 地域（以下、「郷づくり地域」という。）ごとに地域づくり計画を策定し、郷づくり推進事業に取り組んできました。平成 19 年度から約 10 年間が経過したことから、郷づくりのあり方について見直しを行い、これまでの「地域づくり」のうち地域住民が主体となって取り組む活動を「郷づくり」と再定義しています。



(2)計画期間

2030 年まで（福津市まちづくり基本構想（策定中）の目標年）

なお、神興東地域を取り巻く社会情勢や地域課題の大きな変化に合わせて計画を変更できるものとします。

２. 地域の現況

①豊かな自然環境、レクレーション資源、恵まれた歴史資源

神興東地域には、久末ダム、許斐山、みずがめの郷運動公園など、自然が豊かで、レクレーション拠点としても親しまれています。また、神興神社や神武神社などの歴史資源にも恵まれています。

久末ダムは、既に飲料用水としての用途廃止になっています。

また、地域内には西山活断層が存在しています。

②利便性は高い地域

JR 東福間駅及び国道３号線を行きかう「福岡市内直結バス」があるため、交通の利便性は比較的高い評価を得ています。交通の利便性を生かし、宅地開発により、桜川、あけぼのが宅地開発されました。

東福間駅周辺では、スーパーの撤退により、商店が少なくなり、若木台団地では買い物難民の状況がみられます。

なお、域内の交通利便性は良くありません。

③団地と旧集落

旧集落として津丸、久末、八並、通り堂があり、昭和４０年代に若木台団地、その後桜川、あけぼの団地が形成されました。地域が旧集落と団地で構成され、文化やコミュニティに対する意識の違いがみられます。

地域内には、大きな商店街や工場又は産業はなく、団地と田畑に囲まれた旧集落で構成されています。

④教育、相互扶助の精神が息づく地域性

江戸時代に始まり、現在の「国民健康保険制度」のもととなった「定礼制度」発祥の地であり、相互扶助の精神が息づく地域です。

また、「一人の子を粗末にする時、教育はその光を失う」と語った教育者・安部清美氏に代表されるように、教育に熱心な地域性も有しています。

⑤コミュニティ・スクール神興東小学校、コミュニティ・スクール福間東中学校

地域の力で子は育つ。神興東小学校、福間東中学校はコミュニティ・スクールの指定を受け、また、学校地域協働本部を設置し、地域コーディネーターを置いています。小学校は、総合文化祭や運動会等、学校と地域とが連携した様々な事業を行い、中学校は生徒がボランティアとして郷づくりの様々な事業の支援を行なっています。

⑥部会と郷づくり交流センター

神興東地域では、５部会(子育て支援、福祉、文化、環境・景観、防犯・防災)が設置され、地域に根差し、年間を通した活発な活動を展開しています。

地域活動の拠点となる「郷づくり交流センター」(愛称：ふれあいじんとう)が平成３０年９月に、神興東小学校南側にオープンしました。今後、小中学校と連携した郷づくり活動の一層の推進が期待されます。

⑦地域の状況

神興東地域には、現在、下記の１３の自治会があり、それぞれで自治会の活動を行っています。

自治会名

津丸区、久末区、八並区、通り堂区、若木台１区、若木台２区、若木台３区、

若木台４区、若木台５区、若木台６区、桜川区、三角区、あけぼの区

⑧高齢化の進展

神興東地域は人口７，７５６人、世帯数３，００５世帯です。高齢者の割合は３１．６％で、福津市全体より高齢化が進んでいます。（平成３０年３月末時点）

高齢化率は、地域によって差があり、桜川区、あけぼの区では５％未満となっています。

【近年の郷づくり、地域の経緯】

（１４年度～１９年）「神興東小校区まちづくり会」の設置

（１９年度）　「郷づくり神興東コミュニティ」の設立

（２０年度）　あけぼの区が誕生

（２２年度）　福間東中学校がコミュニティ・スクールに指定される

行政区長制度の廃止

（２５年度）　神興東地域郷づくり推進協議会の設立

ロゴマークの制定

郷づくり協議会の愛称決定「郷づくり神興東」

（２６年度）　神興東自主防災会の設立

市制１０周年感謝状贈与

（２７年度）　第１回神興東地域防災訓練実施

（２８年度）　「神興東サポーター」設立

わくわく「ゆめ」会議の開催

（２９年度）　市長を囲む「市長囲炉裏談議」の開催

（３０年度）　神興東郷づくり交流センター（愛称：ふれあいじんとう）の開館

人口、世帯数、6歳未満、65歳以上、高齢化率

平成19年3月末現在

行政区	合計人数	男	女	世帯数	6歳未満	65歳以上	高齢化率
地域合計	6,929	3,307	3,622	2,447	377	1,545	22.3%
通り堂区	382	179	203	131	17	92	24.1%
津丸区	350	162	188	142	13	119	34.0%
久末区	144	65	79	43	8	40	27.8%
八並区	362	175	187	111	13	99	27.3%
若木台1区	698	329	369	271	27	178	25.5%
若木台2区	840	405	435	276	41	127	15.1%
若木台3区	740	346	394	273	32	182	24.6%
若木台4区	829	393	436	313	28	223	26.9%
若木台5区	774	369	405	293	26	202	26.1%
若木台6区	1,056	506	550	381	25	256	24.2%
桜川区	710	357	353	198	144	13	1.8%
三角区	44	21	23	15	3	14	31.8%
福津市全体	55,996	26,229	29,767	21,026	2,619	12,557	22.4%

平成30年3月末現在

行政区	合計人数	男	女	世帯数	6歳未満	65歳以上	高齢化率
地域合計	7,756	3,692	4,064	3,005	344	2,450	31.6%
通り堂区	361	170	191	150	14	131	36.3%
津丸区	308	149	159	152	9	128	41.6%
久末区	113	48	65	42	1	38	33.6%
八並区	320	159	161	129	8	119	37.2%
若木台1区	740	345	395	325	31	279	37.7%
若木台2区	798	383	415	310	34	262	32.8%
若木台3区	694	332	362	288	31	305	43.9%
若木台4区	764	358	406	334	20	333	43.6%
若木台5区	766	349	417	330	21	366	47.8%
若木台6区	996	476	520	417	30	414	41.6%
桜川区	729	361	368	204	27	35	4.8%
三角区	50	24	26	19	2	14	28.0%
あけぼの区	1,117	538	579	305	116	26	2.3%
福津市全体	63,545	29,876	33,669	26,608	4,264	17,709	27.9%

神興東地域長期的データ

3月末現在
児童、生徒:4月1日

	平成15年	平成20年	平成25年	平成28年	平成29年	平成30年
人口	6,534	7,040	7,643	7,739	7,739	7,756
男	3,127	3,360	3,645	3,673	3,673	3,692
女	3,407	3,680	3,998	4,066	4,066	4,064
世帯数	2,185	2,514	2,823	2,961	2,971	3,005
6歳未満	268	388	433	392	367	344
65歳以上	1,195	1,656	2,106	2,369	2,412	2,450
高齢化率	18.3%	23.5%	27.6%	30.6%	31.2%	31.6%
小学校児童数	345	461	597	542	542	525
中学校生徒数	599	503	498	509	478	494
自治会数	12	12	12	13	13	13

昭和55年神興東小学校設置時の児童数　513

3. 地域の課題

(1)地域全体の課題

少子高齢化や人口減少が進み、また、社会活動の重要性に対する意識の低下がみられます。

①高齢化や社会活動に対する意識の変化による自治会からの脱退増大

②社会構造の激変での自治会活動の参加忌避

③順番役員辞退の為の育成会等からの脱退

④防災拠点と組織の整備（西山断層があり急がれる自治会と郷づくりの役割分担）

(2)自治会が抱える課題

域内では、桜川区、あけぼの区以外は高齢化が進み、人口、世帯数の減少がみられます。福岡への交通は良いが、域内の交通利便性は悪い状況にあります。

旧集落地域では村落共同体は保たれていますが、地域全体として次第にコミュニティ意識、村落共同体意識の希薄化が進んでいます。

①若木台団地等の買い物難民

②高齢者の公共交通機関の利便性の悪さ

③若木台団地を始めとして、空き家・空地対策

④地域文化の担い手不足、必要性意識の変化

⑤高齢者の居場所づくり

(3)郷づくり活動の課題

①郷づくりと自治会の役割と支援

神興東地域には１３自治会があり、各自治会は組組織を有しています。自治会では、広報誌配布を通じた隣近所の確認等、地味ではあるが重要な役割を担うとともに、各自治会独自の事業を行って、地域のコミュニティの維持に努めています。郷づくりのベースになる組織です。

郷づくりは自治会を補完するとされています。神興東地域の各自治会との連携、協力関係を強化し、郷づくりの自治会支援とともに、自治会の郷づくり事業への協力の在り方を検討する必要があります。

また、現在の郷づくりや５部会、また実施している事業について、広報や説明会等を通じて周知を図り、郷づくりに対する理解を図る必要があります。

②部会員の増加と役員後継者の確保

現在は５部会でそれぞれの分野における各種事業を行っていますが、部会員が少ない状況にあります。このことは、新たな事業を取り組みにくくしています。

このため、部会員を増やす取り組みが求められています。また、役員の高齢化のため、後継の確保の検討が求められています。

③若者、女性、勤労者の参加

現在の部会員は高齢者が大半です。これは、郷づくりに参加しようと思っても、仕事や家事、子育て等で時間帯によっては参加できにくい状況が生じています。特に、若者、女性、勤労者の参加が少ないため、事業の実施の時間帯や曜日を配慮する必要があります。

④魅力ある事業と参加者増加、継続的な事業

郷づくりが行っている事業の参加者の増加のためには、面白く、楽しい事業とするため、事業内容を魅力あるものにするとともに、スタッフ自身が楽しいと思える事業とする必要があります。

このため、事業内容の再検討や新たな事業、また、部会員に負担が大きいとの声を受け、より、効率的、効果的な事業を検討する必要があります。

また、イベントが多いとの意見があり、継続的な事業を検討する必要があります。

⑤交流センターの利用

平成３０年９月に郷づくり活動の拠点となる「郷づくり交流センター」（愛称：ふれあいじんとう）がオープンしました。センターは市が設置し、郷づくりが管理運営しています。センターは自治会、一般の利用もできます。

センターを中心にして交流が増え、郷づくりの活動がますます活性化するよう取り組む必要があります。

⑥組織、事業のあり方

現在の郷づくりの事業はボランティア活動で成立していますが、権限や責任が明確ではありません。事業や組織の基盤づくりのため、活動の対価について検討する必要があります。

また、現在の本部や５つの部会の事業について、本部、部会のどちらで取り組むのか、部会においてもその内容、また、部会の在り方について検討する必要があります。

(4)これからの検討課題

①東福間駅周辺の活性化

東福間駅前は生鮮食料品店が撤退し、駅利用者も含めて、買い物の場所が遠くなりました。神興地域と連携して、周辺地域の活性化を検討する必要があります。

②久末ダムの将来

久末ダムは、市の飲料水用ダムとしての機能はなくなっています。市としてダムは存続するとしていますが、公園としてのみずがめの郷の在り方も含め、将来的な姿を検討する必要があります。

4. 基本方針・計画

(1)本部の基本方針・計画

【基本方針】

～ともに生き、支えあい、一人ひとりを大切にするまち神興東～

住みたい、住み続けたい、ふるさと（神興東）づくりを目指して、神興東地域全体における様々な課題に対し、郷づくりの活動を通して積極的に取り組み、地域にとって必要な組織となるように努めるとともに、高齢者から若者まで郷づくり活動に楽しんで参加できる仕組みづくりを行っていきます。

【計画】

①事業と組織の見直し

■本部と部会、部会間および役員の役割分担の明確化と必要に応じた見直し
■郷づくりの各部会独自の事業を年間 2～3 事業として、それ以外に自治会との協働の事業の展開
■郷づくり事業へのスタッフ参加者への費用弁償支払い
■神興東サポーター制度を、地域との橋渡し役に加え、事業への参加協力を行うより実動的な組織への見直し
■従来の提供型事業ではなく参加者、スタッフともに楽しいと思える魅力のある事業へ
■参加しやすい日時の設定
■高齢者や子育て世代中心の活動ではなく学生や独身の若者も参加できる事業

②部会員増に向けた取り組み

郷づくりの事業を担っている現在の５部会の部会員は、過去から長く関わった人が多く、新たな部会員の参入が少ない状況がみられ、また部会員の高齢化も進んでいます。

このため、事業を魅力あるものにするとともに、スタッフが楽しいと思える内容にし、若者等が参加しやすくしていきます。

■広報等による部会員増
■地域に埋もれている人材の発掘

③郷づくりと自治会

自治会は郷づくりを構成する基礎的な組織ですが、郷づくりが良くわからない、知らない、必要ないとの声があります。このため、郷づくりの主旨や事業内容について、周知を図ります。また、郷づくりは自治会活動を補完するとともに、互いに協力しあう関係づくりに努めていきます。

■各自治会を訪問し説明の実施
■広報等による周知
■自治会の意見、要望を聴取し、様々な課題に対応

■郷づくりと自治会との協働事業の検討、実施

④郷づくりと各種団体、組織との連携

地域内に存在する、ＰＴＡ、消防団、子ども会育成会、民生委員等の各種団体、組織と連携を図るとともに、郷づくりとの連携を深めていきます。また、スポーツ団体や文化活動組織あるいは高齢者サービス課が主導している協議体とも連携を取っていきます。

■各種団体、組織との連携

⑤小学校、中学校との連携、支援

コミュニティ・スクール神興東小学校と郷づくりが一体になった文化祭、運動会、防災訓練等を行うとともに、赤ペン先生等、学校運営を支援していく。また、コミュニティ・スクール福間東中学校は生徒ボランティアの活用を図るとともに今後の協力関係の在り方を検討していきます。

■コミュニティ・スクール神興東小学校と郷づくりが一体となった協働事業の推進

■学校運営の支援

■中学生ボランティアの活用

■コミュニティ・スクール福間東中学校との協力関係の検討

⑥自主財源による収入の増加、予算の適正な執行

現在の郷づくりの収入の大半は福津市からの交付金です。できる限り自主財源の確保に努め、自立した運営に努めていきます。また、より透明性のある事業運営となるよう、予算の適正な執行に努めていきます。

■収入増加、自主財源の確保

■予算の適正な執行

⑦広報活動

郷づくり活動の地域全体への周知を図るために定期的な機関誌の発行を行なっていきます。地域の皆さんに楽しんで読んでもらえるよう、各自治会や地域団体の出来事や写真も多く掲載するように努めていきます。郷づくり事業の案内、周知を図るため、地域回覧、全戸配布チラシを行うとともに、郷づくりホームページやフェイスブックの活用による若者向けの情報発信も行なっていきます。

■機関紙の発行

■回覧、全戸配布チラシによる周知

■ホームページ、フェイスブックによる情報発信

⑧交流センター

神興東郷づくり交流センター（愛称：ふれあいじんとう）は、郷づくりの拠点施設として、平成３０年９月福津市が設置、オープンし、その後は、郷づくりが管理運営を行っています。センターは一般住民の利用も可能です。

センターは郷づくり活動の拠点として活用するとともに、印刷機（有料）やフリーのパソコンの設置等事務機能も備え、地域内の情報発信コーナーの充実も図っていきます。地域のだれでも、気

軽に立ち寄って交流できるセンターを目指していきます。

■交流センター（愛称：ふれあいじんとう）の管理と利用しやすいセンター運用

■備品等、事務所機能の充実

■交流センター管理運営規定、会議室等貸出運用規定等の整備

⑨少子高齢化対応

全国的に高齢化、少子化の進展、労働人口減少、定年の延長や年金生活者の増加など、社会構造が変化し、住民の意識にも変化が発生しています。

神興東地域では、新しい団地以外は高齢化が進み、対応が求められています。

■高齢者向け講座等の開催

■自治会福祉活動への支援

⑩防災、減災への取り組み

いつ発生するかわからない大地震や、洪水、火災等の災害に備えて、啓発活動や効果的な防災訓練を行うとともに、防災備蓄倉庫の充実、防災機材購入、防災マップの作成等に努めていきます。

■防災部会の立ち上げ

■防災訓練の実施

■防災備蓄倉庫の充実、防災機材購入、防災マップの作製等

■自治会や小中学校、消防団との連携

⑪東福間駅周辺の活性化、久末ダムの将来、許斐山登山道の整備

東福間駅周辺の活性化については、市が行っている東福間駅周辺地域にぎわい再生計画に関する協議会に参加し、神興地域とともに、計画づくりを進めていきます。

久末ダムについては、「上水道の水源として、維持保全に努める」という福津市の方針のもと、将来的な姿について、検討していきます。

許斐山については、地元とともに、危険なところがないか、安全な登山道の調査、整備を進めていきます。

■東福間駅周辺地域にぎわい再生計画に関する協議会に参加し、計画づくり

■久末ダムの将来像の検討（水源として、ダム周辺の自然環境整備の両面）

■許斐山登山道の調査、整備

(2)分野ごとの基本方針・計画

子育て支援分野（子育て支援部会）

【基本方針】

家庭共育のまちづくり　～共に、家庭育て・家庭育ち～

家庭の子育てを地域で支えよう

家庭のつながりで子育てを進めよう

地域のつながりの場をつくろう

【計画】

<table>
<tr><th colspan="2">区　　分</th><th>事業概要</th><th>場所</th><th>継続
新規</th></tr>
<tr><td rowspan="2">幼児から高齢者までが楽しく集える事業

（交流センターを核とした楽しいサロンづくり）</td><td>子育て中の皆さんが集える場づくり</td><td rowspan="2">プレーパーク

アンビシャス広場への支援

育成会への支援</td><td rowspan="2">若木台4号公園

ふれあいじんとう</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>いろいろな遊び、勉強、研修教育づくり</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">地域の人々との交流事業

（イベントを通して地域・学校・家庭との関わり）</td><td>地域運動会・相撲大会・餅つき大会等の実施</td><td>（１）地域運動会
（２）相撲大会
（３）餅つき大会
（４）お星さまと遊ぼう</td><td>（１）小学校
（２）神興神社境内
（３）小学校
（４）小学校</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>地域の皆さんのいろんな事を伝えるべき場の検討や計画</td><td></td><td></td><td>継続</td></tr>
</table>

【課題】

■部会員または実働部会員の不足

■地域運動会や餅つき大会は、各自治会からの応援で実行委員会形式で行っているので１部会事業なのか検討が必要です。

福祉分野（福祉部会）

【基本方針】

日頃の暮らしの中で子どもたちから高齢者まで、障がい者、生活困窮者を、住民みんなで支えあい、交流し、いきいきとした元気なまちをつくります。

地域住民の様々な生活を支えあい、保証する福祉文化の形成をめざします。

みんなが自然に集まる福祉のセンターとなる「オアシス（場所）」をつくり、活発な交流を進めます。

【計画】

区　分		事業概要	場所	継続 新規
あんしん情報セット		かかりつけ医や服用薬などの医療情報、緊急連絡先などの情報を入れた「救急医療情報キット」をあらかじめ冷蔵庫に保管し、「もしも」の時に役立てる	―	継続
介護、医療、その他の講座	音楽を取り入れた介護予防講座	呼吸法・口腔体操・音楽演奏・リズム体操 懐かしい歌詞の暗唱	ふれあいじんとう地域公民館	継続
	シニアライフの基礎知識	いつか来る別れ、その日のため、残される人のため、知っておきたい知識を学ぶ	ふれあいじんとう地域公民館	継続
	在宅医療講座	医療政策・高齢者医療の動向 在宅医療の具体的内容の紹介	ふれあいじんとう地域公民館	継続
健康測定会		現在の体力等を測定し、健康維持に役立てる。	ふれあいじんとう地域公民館	継続
郷づくりカフェ		地域の子どもやお年寄りに食事と居場所を提供し、交流する	小学校等	継続
料理教室		福津市食生活改善推進協議会の指導のもと、減塩と野菜の効果を参加者で実践する料理教室	ふくとぴあ	継続

【課題】

■部会員または実働部会員の不足

■高齢者（独居者・高齢夫婦）や障がい者、母子父子家庭などへの支援の取り組みを検討する
そのための実態調査を手掛ける

■部会事業は年間2～3事業として、それ以外に自治会との協働の事業を展開していく

文化分野（文化部会）

【基本方針】

～　歴史と文化で人とひとをつなぐまち神興東　～

私たちのまちを創り育てた歴史を知り

秘めた“力”と“宝”を見出し

多くのひとが出会えるまちづくり

【計画】

区　分		事業概要	場所	継続 新規
歴史遺産分野	絵馬や史跡を巡る	地域の歴史遺産（神社・絵馬・史跡・祭りなど）を訪ね、地域・地名の成り立ちや先人が残した歴史などについて多くの人と共有し、遺産を継承することなどについて事業展開	神社・仏閣、史跡	継続
	茶話会	歴史や歴史上の人物や事象に焦点を当てて語り合い、文化や歴史の教養を高めながら、交流を深める	ふれあいじんとう	継続
人とひとをつなぐ	春の宴	寒い冬から待ちわびていた「春の香」を聞きながら、地域の皆さんと楽しく集い、戸外に飛び出し、交流を深める	みずがめの郷	継続
	ティータイムコンサート	お茶を飲みながら音楽を気軽に楽しんで、非日常的な文化の香りを届ける	ふれあいじんとう	継続
	文化祭 （じんとう祭）	小学校、PTA、郷づくりの三者が共同し地域最大のイベントとして全員参加型の事業として展開	神興東小学校	継続
囲碁大会		多くの人が趣味にしている「囲碁」の地域の大会	ふれあいじんとう	継続
パソコン教室		パソコン利用のスキルアップのための教室	ふれあいじんとう	継続

【課題】

■部会員または実働部会員の不足

■春の宴や文化祭体育館ステージは地域の方々の参加型へ

■じんとう祭は、郷づくり本部事業として実施する

■部会事業は年間2～3事業として、それ以外に自治会との協働の事業を展開していく

環境・景観分野（環境・景観部会）

【基本方針】

水と緑と道でつなぐまちづくり

水をきれいにしよう
緑を大切にしよう
使いやすい道にしよう
ゴミを財産にしよう

【計画】

区　分		事業概要	場所	継続 新規
1. 環境 美化 活動 事業	(1) 道路清掃 活動事業	地域内の道路や歩道の清掃活動を行い、地域の環境維持を進める	国道3号線歩道や 校区内主要道路	継続
	(2) 地域花 いっぱい 推進事業	駅前やバス停等の人が集まる場所において、花壇やプランターを設置、季節の花を栽培し、豊かな地域環境を創造する。また、地域や学校の取り組みを支援し、助成する	東福間駅前 若木台交差点 等	継続
2. 農業体験 活動事業		久末ダム下の夢農場において、いもやそばの栽培、収穫体験を行い、(1)自然とのふれあい(2)食べ物や環境の大切さの学習(3)仲間づくり(4)昔の技術の伝承　を進める ・さつまいも、じゃがいも、さといもの栽培 ・ソバの栽培とソバ打ち体験 ・炭焼き　　等	夢農場 (久末ダム下)	継続
3. 青空市場の開催		農産物の朝市により、新鮮な野菜やくだもの等を提供し、買い物難民の対応を図るとともに、地域の活性化を進める (朝市実行委員会への支援事業)	宗像農協 神興支店横広場	継続

【課題】

■部会員または実働部会員の不足

■部会事業は年間2～3事業として、それ以外に自治会との協働の事業を展開していく

■段ボールコンポスト容器購入費への補助(半額)継続

■景観分野への取り組み

防犯分野（防犯部会）

【基本方針】

地域の力で安全安心のまちづくり
～ むこう三軒両隣の支えあい ～

子どもからお年寄りまで、みんなの安全は「自警」で守ろう

【計画】

区　分		事業概要	場所	継続 新規
小学校・児童	登下校時の交通安全、見守り	学校、青少年指導員会、警友会、PTAと協力して、登下校時の交通安全見守りとあいさつ、声掛け活動の実施 見守り活動時のシャボン玉発生	通学路	継続
	新一年生指導	新一年生の交通安全指導	通学路	継続
	交通安全教室等	小学校の交通安全教室、地震、火災避難訓練及び春秋の遠足への参加協力	小学校	継続
パトロール	定期的パトロール	定期的な地域パトロール	地域内	継続
	緊急パトロール	警察、交番と連携して、不審者情報などによるパトロールの実施	地域内	継続
	のぼり旗	防犯パトロール実施中の、のぼり旗の掲示、点検、交換	地域内	継続
講習会		「交通事故対策」、「詐欺被害対策」講習の開催	ふれあいじんとう等	継続
道路清掃等		地域内の通学道路の清掃活動及び危険な看板の整理	地域内	継続
調査		交通危険個所の調査と関係先への改善依頼	地域内	継続

【課題】

■部会員または実働部会員の不足

■部会事業は年間2～3事業として、それ以外に自治会との協働の事業を展開していく

防災分野（防災部会）

【基本方針】

地域の力で安全安心のまちづくり
～ むこう三軒両隣の支えあい ～

「まずは自助、そして共助、最後に公助」を合い言葉に、災害時の支えあう仕組みを確保しよう

【計画】

区　　分		事業概要	場所	継続 新規
部会組織の立ち上げ		部会組織の立ち上げ		新規
防災訓練	校区防災訓練	神興東地域自主防災会と共同した防災訓練の実施	公民館 小学校	継続
自治会防災組織	各自治会の防災組織	各自治会の自主防災組織の立ち上げ、支援		新規
	自治会の要望	自治会の防災関係要望の収集と検討		新規
防災備蓄倉庫		防災備蓄倉庫の点検、資材補充	小学校	継続
防災マップ		防災マップの有効活用、充実		継続
消防団等の消防組織との連携		消防団等の消防組織との連携		新規
新たな防災関係事業の検討		防災訓練内容の検討、新規事業		新規

【課題】

■部会の立ち上げ

■部会事業は年間2～3事業として、それ以外に自治会との協働の事業を展開していく

本部事業一覧

区　　分		継続 新規
1. 事業と組織の見直し	① 本部と部会、部会間および役員の役割分担の明確化と必要に応じた見直し	継続
	② 郷づくりの各部会独自の事業を年間2～3事業として、それ以外に自治会との協働の事業の展開	新規
	③ 郷づくり事業へのスタッフ参加者への費用弁償支払い	新規
	④ 神興東サポーター制度を、地域との橋渡し役に加え、事業への参加協力を行うより実動的な組織への見直し	新規
	⑤ 従来の提供型事業ではなく参加者、スタッフともに楽しいと思える魅力のある事業へ	継続
	⑥ 参加しやすい日時の設定	継続
	⑦ 高齢者や子育て世代中心の活動ではなく学生や独身の若者も参加できる事業	継続
2. 部会員増に向けた取り組み	① 広報等による部会員増	新規
	② 地域に埋もれている人材の発掘	継続
	③ 若者による組織化、事業展開	新規
	④ 人材募集担当の設置	新規
3. 郷づくりと自治会	① 各自治会を訪問し説明の実施	継続
	② 広報等による周知	継続
	③ 自治会の意見、要望を聴取し、様々な課題に対応	継続
	④ 郷づくりと自治会との協働事業の検討、実施	新規
4. 郷づくりと各種団体、組織との連携	① 各種団体、組織との連携	継続
5. 小学校、中学校との連携、支援	① コミュニティ・スクール神興東小学校と郷づくりが一体となった協働事業の推進	継続
	② 学校運営の支援	継続
	③ 中学生ボランティアの活用	継続
	④ コミュニティ・スクール福間東中学校との協力関係の検討	新規
6. 自主財源による収入の増加、予算の適正な執行	① 収入増加、自主財源の確保	継続
	② 予算の適正な執行	継続
7. 広報活動	① 機関紙の発行	継続
	② 回覧、全戸配布チラシによる周知	継続
	③ ホームページ、フェイスブックによる情報発信	継続
8.交流センター	① 交流センター「愛称：ふれあいじんとう」の管理と利用しやすいセンター運用	継続
	② 備品等、事務所機能の充実	新規
	③ センター管理運営規定、会議室等貸出運用規定等の整備	新規
9. 少子高齢化対応	① 高齢者向け講座等の開催	継続
	② 自治会福祉活動への支援	継続
10. 防災、減災への取り組み	① 防災部会の立ち上げ	新規
	② 防災訓練の実施	継続
	③ 防災備蓄倉庫の充実、防災機材購入、防災マップの作製等	継続
	④ 自治会や小中学校、消防団との連携	継続
11. 東福間駅周辺の活性化、久末ダムの将来、許斐山登山道の整備	① 東福間駅周辺地域にぎわい再生計画に関する協議会に参加し、計画づくり	継続
	② 久末ダムの将来像の検討（水源として、ダム周辺の自然環境整備の両面）	継続
	③ 許斐山登山道の調査、整備	新規

分野別事業一覧

分野	事業		新規・継続
子育て支援	プレーパーク		継続
	地域運動会		継続
	相撲大会		継続
	餅つき大会		継続
	お星さまと遊ぼう		継続
福祉	あんしん情報セット		継続
	音楽を取り入れた介護予防講座		継続
	シニアライフの基礎知識		継続
	在宅医療講座		継続
	健康測定会		継続
	郷づくりカフェ		継続
	料理教室		継続
文化	歴史遺産分野	絵馬や史跡を巡る	継続
		茶話会	継続
	人とひとをつなぐ	春の宴	継続
		ティータイムコンサート	継続
		文化祭（じんとう祭）	継続
	囲碁大会		継続
	パソコン教室		継続
環境・景観	環境美化活動事業	道路清掃活動事業	継続
		地域花いっぱい推進事業	継続
	農業体験活動事業		継続
	青空市場の開催		継続
防犯	小学校・児童	登下校時の交通安全、見守り	継続
		新一年生指導	継続
		交通安全教室等	継続
	パトロール	定期的パトロール	継続
		緊急パトロール	継続
		のぼり旗	継続
	講習会		継続
	道路清掃等		継続
	調査		継続
防災	部会組織の立ち上げ		新規
	防災訓練	校区防災訓練	継続
	自治会防災組織	各自治会の防災組織	新規
		自治会の要望	新規
	防災備蓄倉庫		継続
	防災マップ		継続
	消防団等の消防組織との連携		新規
	新たな防災関係事業の検討		新規

(3)重点項目

郷づくり計画の標語「ともに生き、支えあい、一人ひとりを大切にするまち神興東」の実現のためには、いかにして人材を見い出すか、また、自治会との協力関係の構築が特に重要です。さらに、自然災害が多発する中、防災、減災対策も求められています。

このため、郷づくり計画の中で、下記4項目を重点項目としました。新規事業について短期、中期、長期の区分、また、目標数値の設定を行いました。

区分		継続 新規	取り組み			目標数値	担当
			短期	中期	長期		
2. 部会員増に向けた取り組み	① 広報等による部会員増	継続					副会長 A
	② 地域に埋もれている人材の発掘	継続					
	③ 若者による組織化、事業展開	新規	○			組織　1	
	④ 人材募集担当の設置	新規	○				
3. 郷づくりと自治会	① 各自治会を訪問し説明の実施	継続				毎年13自治会	副会長 B
	② 広報等による周知	継続					
	③ 自治会の意見、要望を聴取し、様々な課題に対応	継続					
	④ 郷づくりと自治会との協働事業の検討、実施	新規		○		協働事業　3	
８. 交流センター	① 交流センター(愛称：ふれあいじんとう)の管理と利用しやすいセンター運用	継続					副会長 A 事務局長
	② 備品等、事務所機能の充実	新規	○				
	③ センター管理運営規定、会議室等貸出運用規定等の整備	新規	○			規定整備　2	
10. 防災、減災への取り組み	① 防災部会の立ち上げ	新規	○			部会の設置　1	会長
	② 各自治会の自主防災の組織化	新規		○		自治会自主防災組織化　13	防災担当
	③ 防災訓練の実施	継続					
	④ 防災備蓄倉庫の充実、防災機材購入、防災マップの作製等	継続					
	⑤ 自治会や小中学校、消防団との連携	継続					

短期　　1～2年以内
中期　　5年以内
長期　　7年以内

参考資料

（1）計画策定の経緯

第１回郷づくり計画策定委員会　平成３０年５月２２日（火）委員会立ち上げ
第２回郷づくり計画策定委員会　平成３０年６月２１日（木）
ゆめ会議　平成３０年７月２２日（日）
第３回郷づくり計画策定委員会　平成３０年９月２７日（木）
第４回郷づくり計画策定委員会　平成３１年１月３０日（水）
神興東地域郷づくり推進協議会第１２回運営委員会
平成３１年３月９日（土）計画の決定
平成３１年度神興東地域郷づくり推進協議会総会
平成３１年４月２０日（土）計画の報告

（2）神興東地域づくり計画と神興東地域郷づくり計画について

前計画である神興東地域づくり計画は、平成１８年１０月に、同計画策定市民会議により策定されています。

将来像（全体の将来像）
「ともに生き、支えあい、一人ひとりを大切にするまち　神興東」
～恵まれた自然と歴史を活かし、手をつなぎ、笑顔あふれる元気な地域づくり～
基本方針（各分野ごとの将来像）
例：防犯・防災分野の将来像
地域の力で安全安心のまちづくり　～向こう三軒両隣の支えあい～
上記の将来像の実現に向けて、具体的な活動項目、事業が数多く記載されています。

現在まで、地域づくり計画を基に、郷づくりの活動を行ってきましたが、同計画の具体的項目よりも、各部会が自ら考えて、その時々の、地域の実情にあった様々な事業を行ってきました。
このため、今回の郷づくり計画の策定にあたっては、前計画の将来像は引き継ぎ、具体的な事業等は現在行っている事業をベースに組み立てを行っています。

（3）神興東「ゆめ会議」記録

１．趣旨

・「郷づくり神興東」においては、現在、福津市と協働で福津市総合計画に基づいて「ともに生き、支えあい、一人ひとりを大切にするまち神興東」の実現に向けた取り組みを進めているが、部会で取り組んでいる各事業のほか、自然災害や東福間駅周辺の活性化、あるいは，今後の活動の拠点となる交流センターが秋にオープンするなど、社会の変化やそれの応じた住民のニーズ等、地域を取り巻く環境は大きく変化しています。

・一方で、平成２９年度は、郷づくり協議会発足５周年、神興東小学校のコミュニティ・スクール指定１０周年を迎え、新たな飛躍が期待されています。

・福津市においては、平成３０年３月に郷づくり基本構想を策定され、各協議会においても、平成３０年度のそれぞれの計画作が予定されています。

・こうした背景のもと、「郷づくり神興東」の１０年、２０年先の姿を思い描きそれぞれの思いを語り合い、地域住民の「声」を郷づくり計画に反映するため【「ゆめ」会議】を開催するものです。

２．日時、場所、参加者等

① 開催日時　　平成３０年７月２２日（日）　　１３：３０～１５：３０

② 会　　場　　あけぼの公民館

③ 会議形式　　グループ討議方式

④ 参加人数　　６０人程度

⑤ 会 議 名　　「ゆめ会議」

⑥ テ ー マ　　神興東の夢を語ろう

⑦ 参加呼びかけ団体

・一般市民、(回覧（６月１５日号)

・郷づくり神興東部会員　・神興東サポーター　・PTA

・民生委員　　・ボランティア団体

・神興東小学校、福間東中学校

［ファシリテーター］

Ｒｅｅｄ　Ｌａｂｏ代表　プランナー/ファシリテーター　辻桂子　氏

ゆめ会議で出された意見等

分野	意見等
子育て支援	子ども達に対する活動はよくできていると思うが、家庭教育に関しては、あまり働きかけがないように思う
	将来に向けての子育てそのものの支援として、子供への取り組みがやや足りないのでは
	個々の家庭主義に走りがち、地域社会にとけこもうとさせる
	共働き世帯への対応がまだ不足
	PTAとの共働をもっと。高齢者の活用
	家族と地域とのつながり
	声かけが少ない、アイサツ運動
	イベント中心　家庭まで踏み込んでない
	イベントが多い→プレーパークへとなった
	取り組みは多いが、今後とも続けられるか
福祉	もっと身近な所の活動が必要
	郷づくりカフェの取り組みを評価
	出てくる人はカフェなどにも出てくるが、出てこない人はどこにも出てこなくて、様子がわからない。交流がまだまだ
	講座に片寄りすぎ、他のことが不十分
	現在、講座がほとんど。自治会で行っている小福祉会の活動を広げる
	地域の小福祉会との連携を深める。講座→事業、サービス
	活動計画に高齢者等が参加しない
	子どもに対する施策が見えない。自治会との連携が薄い
	部会と民生との共業化
	適切な行事で◎　但し、参加者の輪が広がらないのが玉に傷
	参加者増の検討
文化	文化祭、春の宴◎
	じんとう祭　人の交流を促進している
	じんとう祭のイベントは本当にすばらしい。地域の良さが伝わる
	地域文化祭はすばらしい。地元の文化、歴史を子ども達に広める
	文化祭に地域の方が参加していない
	地域の文化を大切にしている
	全般的にはOK。歴史文化をもっと多くして欲しい
	津丸の歴史・史跡など、後世に残したいものをまとめた冊子を作ったが、PRがいまいち
	地域の歴史等を知る取組
	文化財のPRがもう少し必要
	イベントが多すぎるのでは、もっと地域の歴史を発掘、知らせるようにしてほしい
	部会と他の共有化
	広報、周知に工夫を
	地道な活動　今一つ
	若い人が積極参加できる、楽しくためになる企画、特に若い人が

分野	意見等
環境・景観	お花いっぱい運動などで、駅の近くや身近な所がきれいになっているから
	駅前の花壇等よく整美されていると思うが、他の形でも・・・
	花植えはOK　夢農場はもっと参加者を増やすよう
	公園を増やしてほしい
	すばらしい環境で地域がきれいと思う。でも草が多いとも感じる
	朝市◎　その他の行事について人の輪が広がらないのが玉に傷
	買い物支援はできている。地域の景観をもう少し
	もう少しスーパーマーケットなど、買い物ができる所があると良いと思う
	夢農場のウエート大　自然に関し、もっと力を傾けること
	夢農場への参加が少ない
	農家との交流がいま一歩
	農業体験は必要ですか
	よくやっている　　中学生などが参加した収穫祭などがあり、よくやっている感あり
	全体的な町並みに対する、意見や発想が欲しい。町づくりに対して
	景観についての活動期待
	各戸に景観の取り組みを
	よくやっているが、本来の環境問題への取組み、例えば景観そのものの維持とか不足
	部会はよく活動　　テーマが大きすぎ　　公的な課題と計画が、説明されていない
	行事をへらす
	行事が多いと思う
	計画にそった活動がなされている
	良く出来ていると思う。仲間がもっと増えればベスト
	美化運動活動を（久末ダム周辺）
防犯・防災	見守り隊のウエート大　もっと防災関係をやるべし
	よくやっている。日頃の生活の中で、見守り活動がよくできていると感心することがよくある
	見守りは大変だと思うが、人数が足りないのでは
	立っていてほしい所に見守り隊が立っていない
	トンネルなどの人通りの少ない所での、見守りがほしいという意見を聞いたことがある
	神東小を拠点とする防災訓練はすごいですが、地域住民にとって、本当の災害時の準備になっているのか
	自治会やPTA等との連携強化。部会員の若返り
	防災の取組み強化が必要
	学校行事中心でなく、地域中心にしてほしい
	毎日の取り組みが大変そう！ご苦労様です
	防災面により注力してほしい！
	防災訓練の規模が大きいが、まだ意識付けが必要
全体	支え合いを、もう少し進める
	人づくり、経済的な安定、産業の育成
	横のつながりをもっと大きくしたい
	新しい本部メンバーに期待したい
	郷づくりの組織の継続　地域と小・中の交流がスムーズになっている
	各部会活動を総評し、全体的によくできている感あり
	人が入れ替われる、若い人が入ってこれる仕組みを考えてほしい
	長年の活動があり、下地はある。参加者増の工夫が・・・・
	役員等関わりのある人は一生懸命だが、まだまだ無関心の人がいる
	郷づくりに関わる人と関っていない人の差が大きい
	コミュニティ・スクールの負荷が多いと思います
	自治会との連携に改善の必要がある！
	全体的には良くできているが、地域住民の協力度が少し低い
	活動が良く分からない

(4)自治会訪問　記録

【目的】「郷づくり」って何？、「郷づくり協議会」って何をするところ？　といった疑問を持った住民の方が沢山おられます。 これらの疑問点について、協議会役員が自治会を訪問して顔をあわせて丁寧に説明し、地域と協議会がコミュニケーションを図り、郷づくり活動を積極的に推進するため。

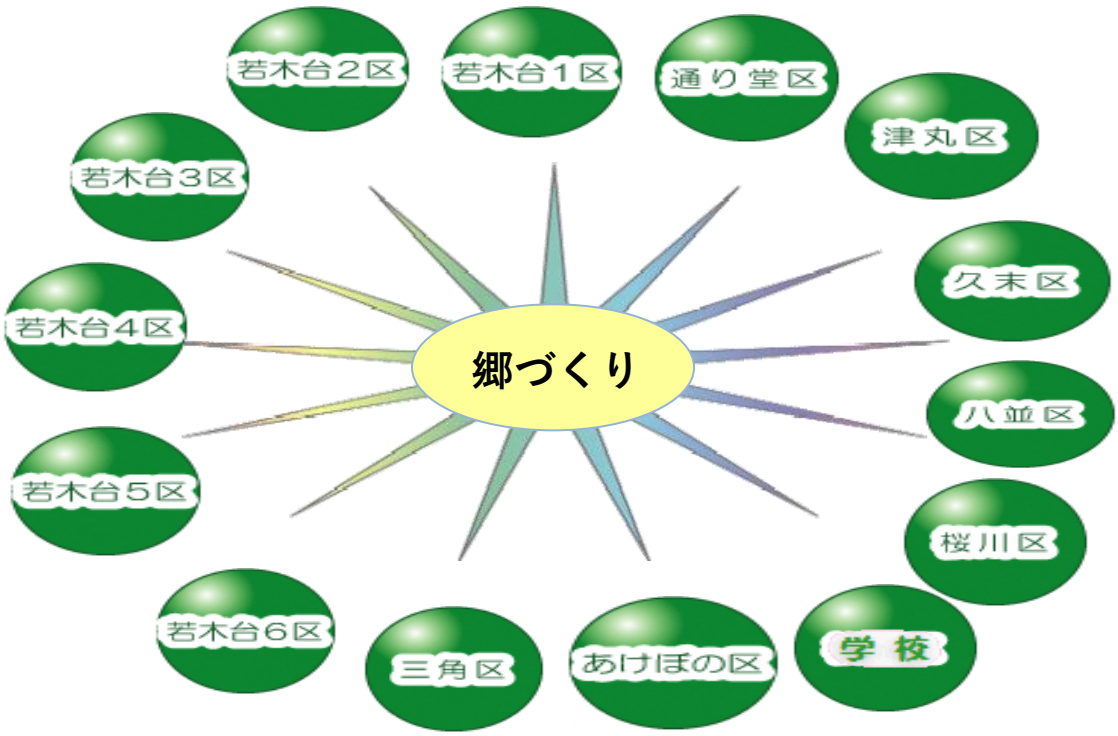
【展開】協議会創設後全くできていなかった活動であるが、今後は1年に2回程度　各自治会を訪問し、目的達成に向けて継続的に活動する。

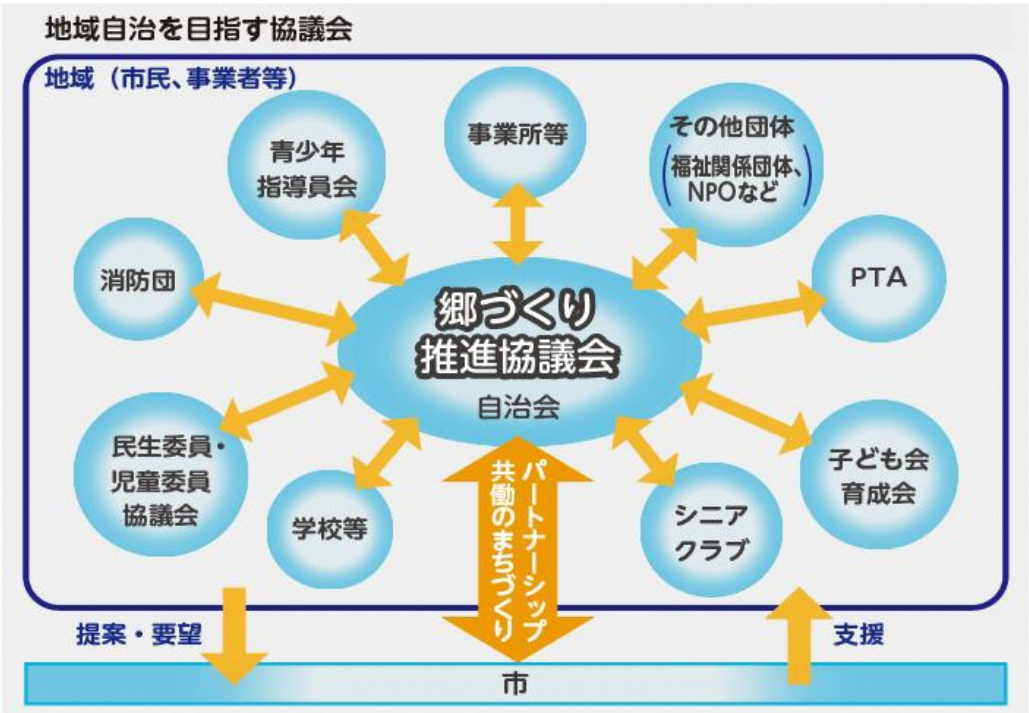
★H30/下　第1回目訪問結果～提案事項などについては、今後の活動の中で解決を図る。

自治会名	実施日	参加者	概　　要　　ま　　と　　め
八　並	6月 10日	？　名	・初訪問で心配あるも、好意的な話し合いをすすめることができ、大成功。
			・自治会は地域活動の基軸であることを説明し理解を得た。
			・自治会からもいろいろと話があり、コミュニケーションアップに繋がった。
津　丸	7月 21日	8　名	・協議会、5部会の説明。 及び自治会活動の基軸は自治会であると説明。
			・自治会ごとに年齢差が大きく、合同行事は難しい。
			・初の話し合いであるため本日意見は無いが、次回開催も期待する。
若木台4	7月 21日	30　名	・協議会・5部会の説明をし多少理解を得、全体的に友好的に進行。
			・今回いろんな話を聞いてよかった。今後も継続して開催すべきと感じた。
			・郷づくりって何？　今日の資料を回覧してもいいですか？　などの質問あり。
若木台1	8月 12日	20　名	・説明していただいた内容は概ね理解できたが、事前に話し合いの趣旨が
			判らなかったので、余り質問できなかった。1回ではだめ今後も開催は必要。
			・市と自治会の期待事項にギャップ多い。自治会に色々助けて欲しいのでは？
通り堂	8月 17日	11　名	・協議会、交流センターなどについて説明。質問はなかったが好意的に終了。
			・通り堂は、「定礼制度」を筆頭に地域の歴史があり、また郷づくりへも協力的。
			・有吉さんの訪問で、会議前の雑談もあり意志疎通の下地ができていた。
若木台2	8月 19日	24　名	・5部会部員選出に関して、代議員から選んでリストアップしてください。はダメ。
			・今回の4枚の説明書は回覧の予定。駅前再開発・久末ダムについて詳細を。
			・今回、市から説明に来ると思った。不慣れで意見は無かったが今後もOK。
若木台3	8月 19日	25　名	・組長会への出席は女性が多く、郷づくり活動・部会活動もよく知らない様子。
			・奥さんの話し方はやさしく丁寧であったが初めての会合であり意見はなし。
			・久末ダム、東福間駅周辺再開発、買い物支援などについての関心が高い。
若木台6	8月 25日	27　名	・郷づくり全般について説明したがよく理解されていない感じ。
			・ただし、協議会が地域のために努力していただいているのは判った。
			・第2回会合も必要。　また、地区総会で説明をするのもベターと思う。
桜　川	9月　2日	12　名	・協議会はよく頑張っておられる。今後も話し合いがあるなら参加する。
			・手助けは不要であるが、焼き台・かき氷機などあれば借用したい。（夏祭り時）
			・現役が多く忙しいが、今後は協議会と連携して活動を進めたい。
あけぼの	9月　8日	？　名	・協議会・5部会の活動状況などについて説明。役員は理解できているが。・・・
			・部会の話が多かったが、自治会の総会で話してもらえれば有効では。役員
			だけでなく、地域住民にもより多く理解してもらうため。今回の企画は賛成。
若木台5	9月 17日	約28名	・協議会・郷づくりの説明については概ね理解できたが、活動に関心が低い。
			・協議会との話し合いについては好意的。が積極的な活動は少ない。
			・5区の問題であるが、自治会長と協議会委員が別というのは色々とやりにくい。
久　末	1月 20日	30　名	・年間行事は非常に多いが経費面は大丈夫か？
			・戦没者の忠霊碑があるが、小学生などにも趣旨を話し継承してほしい。
			・市からの交付金の配分基準はどうなっているのか？

（5）神興東地域郷づくり計画策定委員会名簿

氏名		備考
奥　弘子	郷づくり推進協議会会長	委員長
森山　几夫	郷づくり推進協議会副会長	
桃田　忠良	郷づくり推進協議会副会長	
的場　文彦	郷づくり推進協議会副会長	
丸山　幸雄	郷づくり推進協議会会計	
石田　まなみ	郷づくり推進協議会事務局長	
上村　武男	郷づくり推進協議会事務局長	平成30年9月から
樋口 英典	郷づくり推進協議会事務局長	平成31年2月から
城戸　武文	津丸区　自治会長	
大神　恒	久末区　自治会代表	
新井　浩二	桜川区　自治会長	
小林　孝行	若木台1区　自治会長	
木下　重幸	若木台3区　自治会長	
兼行　一弘	若木台4区　自治会代表	
北川　勲	子育て支援部会　部会長	
佐藤　章	環境･景観部会　部会長	
網谷　美佐子	神興東小学校校長	
若杉　大輔	神興東小学校保護者会会長	


郷づくり
若木台２区
若木台１区
通り堂区
津丸区
久末区
八並区
桜川区
学校
あけぼの区
三角区
若木台６区
若木台５区
若木台４区
若木台３区


地域自治を目指す協議会
地域（市民、事業者等）
青少年
指導員会
事業所等
その他団体
（福祉関係団体、NPOなど）
消防団
PTA
郷づくり
推進協議会
自治会
民生委員・
児童委員
協議会
学校等
パートナーシップ
共働のまちづくり
シニア
クラブ
子ども会
育成会
提案・要望
支援
市